

## U-12 選手権宮城県大会における審判の基本的事項

しっかりとした理解のもとに試合をコントロールするために、試合の前の日までに競技規則をもう一度読み返しましょう。

レフェリージャージ(黒)上下ソックスを着用し、レフェリーワッペン(左胸)リスペクトワッペン(右腕)を装着してください。また、眼鏡はラバー製ゴーグルタイプのみが装着可能です。指輪、ネックレス、ブレスレットの類いも装着不可です。

### 主審

- その他の審判員(A R、4 th)と協力してゲームコントロールをしましょう。
- 対角式審判法を意識して争点を副審と挟む形で判断できる位置からの監視に努めましょう。
- 争点を近くから監視するために一生懸命走りましょう。
- 警告(遅延、異議、意図的なピッチからの退出、F K・C K・スローイン時の距離、繰り返し、反スポーツ的などの各行為)・退場(DOGUSO(ハンド含む)、著しく不正、咬むつば、乱暴、2度目の警告など)など懲戒措置をとる判定基準をしっかりと保持しましょう。
- フリーキックマネジメント・PKマネジメントなど、各種再開における手順をしっかりと確認しましょう。

### 副審

- 基本的にピッチに正対しオフサイドラインキープ(つまり移動は基本サイドステップ)で、ハーフラインからゴールラインまでしっかりと移動して合図しましょう。
- フラッグは基本左手持ちで、上下にスプリントする際はフラッグをピッチ側の手に(つまり主審から見える位置)に持ちましょう。
- 慌てて合図することのないように、W a i t & S e e

### 第4の審判

- ベンチコントロールを行い、ベンチ内の指導者が暴言を吐くなど責任ある行動を取らないなどの行為があった場合に主審に報告し懲戒措置をとってもらう。
- テクニカルエリアが表示されない場合、ベンチの端から約1mが動いても良い範囲となるため特に大きく出ている指導者には注意をする。

## 打合せ

- 試合開始前までに、本部にてその他の審判員を含む4人で打合せを確実にすること。
  - ゲームコントロールを確実にするために試合前の打合せは必須です。以下の項目についてそれぞれの役割分担についてしっかり打合せした上で試合に臨んでください。
    - ◇ オフサイドの判定と合図、また副審の旗を採用しない場合の主審の合図
      - ◆ オフサイドの成立の確認
      - ◆ 採用しない場合の合図をどのようにするのか
      - ◆ フラッグアップに主審が気づかなかった際の対応
    - ◇ スローインの時の監視の分担
      - ◆ 手を主に監視するのは？
      - ◆ 足を主に監視するのは？
    - ◇ 前後半終了時アディショナルタイムの伝達方法
      - ◆ 伝達のタイミング（一般的には終了2～3分前）
      - ◆ 4thの行動（立ち上がって1歩前に）
      - ◆ どのように伝達するのか（指を立てる or エア文字を書く、など）
    - ◇ 副審サイドの反則に対する合図の方法
      - ◆ 主審の判定基準をどのように伝えるか？
    - ◇ ペナルティーエリア内の反則に対する合図の方法
      - ◆ 誰が判断するのか？
      - ◆ 外か内か微妙な判定の際の合図
    - ◇ 直接ゴールを狙えるFKの時の主審と副審の位置と役割・合図の確認
      - ◆ 何を主に監視してもらうのか（ゴールライン or オフサイドライン）
    - ◇ PKの時の主審と副審の位置と役割・合図の確認
      - ◆ 試合中のPKにおけるそれぞれのポジションとマネジメント
      - ◆ 試合後にペナルティーマークからのキックにより勝敗を決する場合のそれぞれのポジションとマネジメント
    - ◇ 試合の記録についての確認（得点・交代・警告・退場）
    - ◇ 負傷事故発生時の対応
    - ◇ 交代の手続きと用具の点検
    - ◇ ベンチの管理・・・ など